しもつけし

ぎかいだより

令和７年５月15日発行

令和７年第１回定例会　３月議会

今号のポイントは？

●令和７年度各会計当初予算
だより編集委員が選ぶ注目事業…Ｐ２

●令和６年度一般会計補正予算…Ｐ４

●10名の議員が市政を問う一般質問……Ｐ８

●読めば答えが見えてくる!?
ぎかいだよりクイズ……Ｐ16

令和7年2月8日（土）に開催された
議会報告会・市民との意見交換会の様子

※詳しくは14ページをご覧ください

各委員会報告

総務常任委員会

経済建設常任委員会

教育福祉常任委員会

議会活性化特別委員会

しもつけ市議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます
ホームページ　http://www.city.shimotsuke.lg.jp

下野市　市議会　検索

NO.76

令和７年 第１回

定例会

２月21日（金）～３月19日（水）

令和７年第１回定例会は、２月21日から３月19日までの27日間の会期で開催された。

市長提案（追加議案含む）により、報告２件、人事案４件、令和６年度補正予算７件、令和７年度予算８件、条例の一部改正等の議案18件の計39件が提出された。

また、一般質問では３名の会派代表質問、７名の個人質問が行われ、市の対応や考え方を問いた。

令和7年度各会計予算を議決

一般会計

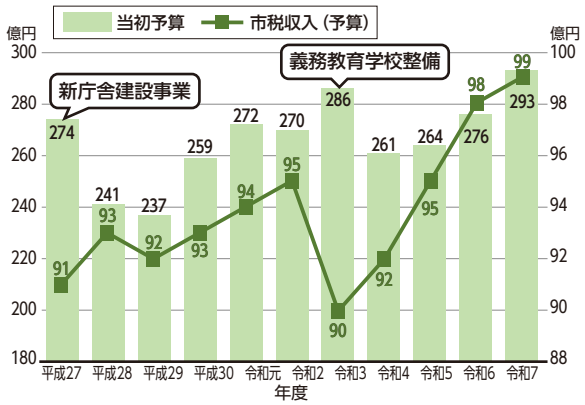
予算総額292億6,000万円（前年度比6.2%増）

予算編成テーマ　～『下野市 つなぐ つながる まちづくり』予算～

令和７年度一般会計当初予算は、「第二次下野市総合計画後期基本計画」及び「第二期下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進し、「ともに築き 未来へつなぐ 幸せ実感都市」の実現を目指している。社会経済状況の変化、市民のニーズを的確に捉えつつ、行政サービスを安定的に提供できるよう健全財政の維持に努める。

現在から未来へとつなぐ『**下野市 つなぐ つながる まちづくり**』予算として編成された。

一般会計当初予算額と市税収入予算額の推移



令和７年度予算の詳しい内容は、市ホームページ、広報しもつけ５月号（P.8～）をご覧下さい。

主要事業について

●がん対策事業　1億3,841万9,000円
がんの早期発見、早期治療を目的とした、各種がん検診の実施

●しもつけっ子応援プロジェクト　1,715万円
子育て世代の見守り強化・おむつ券購入助成券の交付

●妊娠サポート事業　901万8,000円
不妊治療や不育症治療に対して治療費の一部を助成

●校内教育支援センター指導員配置　205万2,000円
不登校対策として校内教育支援センター（校内教室）指導員２名を配置

●地球温暖化対策事業　702万円
ゼロカーボン推進補助金の交付（発電システム、蓄電システム電気自動車等）

●ごみ減量化事業　410万6,000円
家庭用生ごみ処理機器等の購入補助

●担い手支援事業　2,392万円
農業経営改善担い手の確保・育成、及び施設・機械の導入支援

●自治医科大学連携事業　300万円
医療福祉及び住民の健康向上、地域のまちづくりの連携・協力、災害に対応できる人材育成等の支援

●姉妹都市締結 50 周年記念事業　407万5,000円
ドイツのディーツヘルツタール市との交流促進、及び記念式典の開催

●スマートＩＣ整備事業　1億6,100万円
市道 1153 号線道路改良、ネクスコ東日本への整備負担金

●新産業団地整備促進事業　3,790万6,000円
地域産業の活性化、税収の安定増に向けた新たな産業団地の整備

■令和７年度各会計予算

会計名		予算額	前年度との比較 増減	前年度との比較 比率(%)
一般会計		292億6,000万　円	17億1,000万　円	6.2
特別会計	国民健康保険	52億5,327万4千円	6億4,878万1千円	14.1
	後期高齢者医療	9億3,881万1千円	1億　874万8千円	13.1
	介護保険	46億5,095万　円	508万9千円	0.1
	石橋駅周辺土地区画整理事業	5,554万6千円	4,674万7千円	531.3
	仁良川地区土地区画整理事業	3億3,211万3千円	8,434万1千円	34.0
企業会計	水道事業	17億4,433万6千円	△7,219万3千円	△4.0
	下水道事業	34億9,449万3千円	△4億3,230万3千円	△11.0
総計		457億2,952万3千円	20億9,921万　円	4.8

『下野市 つなぐ つながる まちづくり』 予算

議会だより編集委員が選ぶ

注目事業

当初予算から気になる事業をピックアップしました。

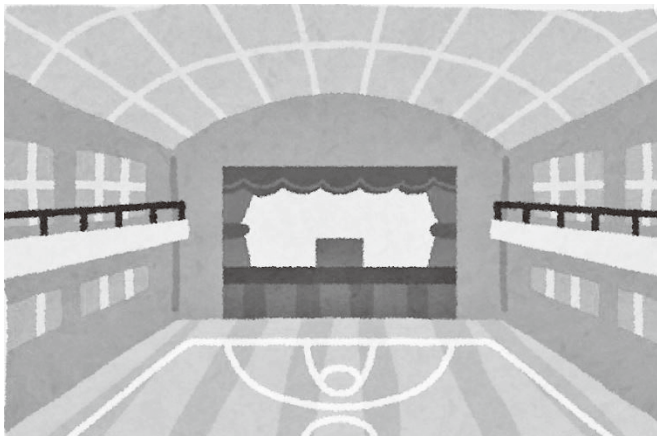
重度心身障がい者医療費助成事業 1億3,081万円

重度心身障がい者に対し、医療費の自己負担額を助成する制度について、令和７年４月診療分（県内医療機関の受診）から、**現物給付方式**※を開始する。

※現物給付方式
医療機関を受診した際、窓口で支払った自己負担分を市役所で払い戻しの手続きをしていたが、今後は医療機関から直接市に請求されるため、利用者の負担軽減となる。

学校空調整備事業 8億1,486万円

小・中・義務教育学校の屋内運動場、特別教室に空調を整備し、学校環境の改善を図る。令和７年度中の設置を目指す。

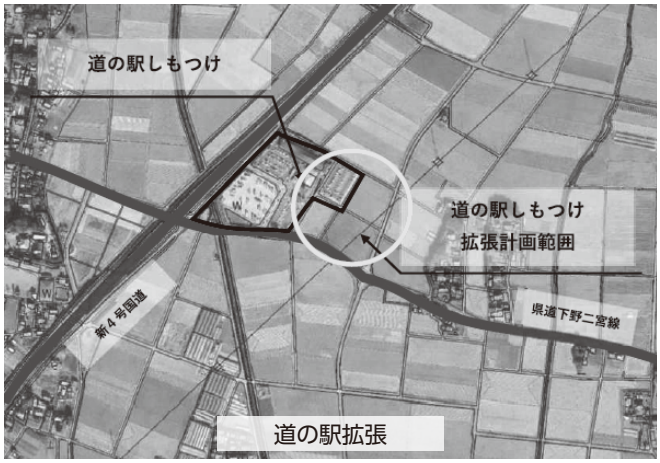


ふるさと納税推進事業 4,240万円

寄附をいただいた方に対し、市の特産品等を返礼品として送る事業。寄附額の上昇に伴い、事業の拡大を図る。また、特産品等をＰＲして地域の活性化を図る。

道の駅しもつけ修繕・拡張事業 9,271万7,000円

道の駅しもつけ施設の管理に関する基本協定により各施設の適正な維持管理を行う。令和７年度は厨房施設の改修、及び拡張事業に係る土地の購入を実施する。



市制施行20周年記念事業 1,680万円

令和８年１月10日に市制施行20周年を迎えることから、市民との一体感の醸成と本市のさらなる発展の契機とするため、市制施行20周年記念事業（記念式典・メモリアルソング制作等）を実施する。

道路・公園照明灯LED一括更新事業 1億4,234万9,000円

老朽化による不点灯や照度不足の解消及びＬＥＤ化により、安全安心な利用環境の充実を図る。
※令和７年度更新予定は以下のとおり
道路照明灯　557灯、公園照明灯　315灯

人事

付議事件	内　容
人権擁護委員の候補者の推薦	任期満了に伴い、黒川（くろかわ） 栄子（えいこ） 氏を推薦（再任）することを了承しました。 任期満了に伴い、伊澤（いざわ） 淑子（よしこ） 氏を推薦（再任）することを了承しました。
教育委員会委員の任命	任期満了に伴い、青木（あおき） 正徳（まさのり） 氏を任命することに同意しました。
公平委員会委員の選任	任期満了に伴い、五月女（そうとめ） 智史（さとし） 氏を選任することに同意しました。

令和６年度各会計補正予算を議決

令和６年度一般会計
補正予算（第８号）

臨時特別給付金支給事業等による増額

２億7,602万８千円の増額により、歳入歳出の予算総額は303億9,771万９千円となる。以下、主なもの。
・歳入：国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（２億7,302万８千円）
・歳出：住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金支援事業（１億4,940万４千円）

令和６年度一般会計
補正予算（第９号）

各種事業費の確定による増額

10億560万９千円の増額により、歳入歳出の予算総額は314億332万８千円となる。以下、主なもの。
・歳入　空調設備整備臨時特例交付金（３億1,341万４千円）、スマートＩＣ整備事業（１億2,960万円）
・歳出　学校空調整備事業（６億2,952万５千円）、スマートＩＣ整備事業（３億3,800万円）

■令和６年度各会計補正予算

会計名		補正額	補正後の予算額
一般会計	第８号	2億7,602万8千円	303億9,771万9千円
	第９号	10億　560万9千円	314億　332万8千円
特別会計	国民健康保険（第４号）	5,777万2千円	53億6,708万7千円
	介護保険（第３号）	▲1億　977万4千円	46億7,609万2千円
	石橋駅周辺土地区画整理事業（第３号）（繰越明許）	－	－
	仁良川地区土地区画整理事業（第３号）（繰越明許）	－	－

■令和６年度企業会計補正予算

区分			補正額	補正後の予算額
水道事業（第３号）	資本的収支	収　入	▲2,901万5千円	2億3,392万　円
		支　出	▲2,901万5千円	7億7,014万　円

条例その他　議決した主な議案についてお知らせします。

消防団条例の一部改正

消防団員不足を補うため、能力や事情に応じて特定の活動のみに参加する**機能別消防団員**※を導入することになります。

※機能別消防団員
より多くの人が参加しやすいよう、特定の任務及び活動にのみ従事する団員制度

手数料条例の一部改正

宅地造成及び特定盛土規制法に基づく、栃木県における規制区域の指定及び運用開始に伴い、事務の一部が市が行うため、納入すべき手数料の額が条例に追加される。

総括質疑　市長から提案された議案について、疑問点を問います。

給与費明細（令和７年度一般会計予算）

Q　その他特別職の職員数が増加している理由を伺う。

A　農林業センサスにかかる人員の減少がある一方で、令和７年度に国勢調査が予定されており、その指導員と調査員として355名増えるためである。

特産農産物支援事業（令和７年度一般会計予算）

Q　施設・機械整備や苗購入に対する補助金交付の成果を伺う。また、生産拡大にどのように取り組んでいくのか。

A　本市独自の補助制度であり、毎年活用されている。生産拡大については、人手を必要とする農家と働きたい方をつなぐマッチング制度の創設に向けて進めていきたい。

常任委員会 審査報告

定例会で委員会付託された議案などについて、各常任委員会での審査内容をお知らせします。

総務常任委員会

◎小谷野 晴夫　○金子 康法
石田 陽一　貝木 幸男　山下 みゆき

議案第12号　令和７年度一般会計予算

庁舎等施設管理事業

Q　庁舎学習スペース受付・警備の内容を伺う。

A　学習機会の確保と生涯学習推進のため庁舎内に学習スペースを設置する予定である。庁舎が５時15分で閉庁となるため午後９時までの警備費用を計上している。まずは平日の開庁時間中に試行的に運用を開始し、周知を図りながら時間帯を延長していく。

議案第13号　令和７年度国民健康保険特別会計予算

一般被保険者療養給付費分

Q　国民健康保険事業費給付金が前年度から１億円以上増額となった理由を伺う。

A　納付金は、年間の医療費の見込みを基に各市町の被保険者数などで算出された金額になっている。これまで県内の各市町で医療費の差をなくすよう、県の基金等を利用して調整をしていたが、将来的に県内の保険税率等を統一することを目的に今後毎年約２割の増額が見込まれる。令和７年度はその１年目で特に金額が大きくなっている。基金から約１億６千万円を納付金の財源として繰り入れる。

CHECK 現地調査

グリーンタウンコミュニティセンター

吉田西小学校

薬師寺防災倉庫

経済建設常任委員会

◎伊藤 陽一　○松山 裕
大島 昌弘　石川 信夫　五戸 豊弘　加藤 好雄

議案第10号　令和６年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第３号）

Q　今後宅地を増やす計画はあるか伺う。

A　現在の整備進捗率は86％であり、今後も保留地を売り出す予定である。人口も事業開始当初に比べ1,900人増加している。今後はしもつけ産業団地が操業すれば雇用の創出等により、さらに住宅が増えることが予想されるため、住みやすい環境整備に努めていく。

議案第32号　下野市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正

Q　本条例に該当する公園への対応を伺う。

A　条例は、高齢者や障がい者を含むすべての人が安全かつ快適に移動し社会参加できるよう、公園・道路などの施設や公共交通機関のバリアフリー化推進を目的に、高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき定めている。公園などの新設においては法の基準に基づき整備を進めている。

CHECK 現地調査

上古山地区農地整備地

市道２－１号線

幕田堰

教育福祉常任委員会

◎相澤 康男　○西本 由利子
村尾 光子　秋山 幸男　石川 浩　鈴木 一司

議案第12号　令和７年度一般会計予算

学校教育運営事業

Q　「校内教育支援センター指導員」の配置状況と業務内容を伺う。

A　令和７年度からの新規事業であり、不登校対策のため、校内教育支援センターを設置している学校に１日３時間、週５日程度指導員を配置し、子どもたちへの支援および教員の業務負担軽減を行う。

障がい児給付事業

Q　令和６年度と比べ、1.5倍に増額した理由を伺う。

A　コロナ禍が明けたこと、及び福祉サービス業者が増加したことによる、福祉サービスの増加。また、福祉まるごと相談窓口や障がい児者相談支援センター等の相談窓口の利用が定着、増加したためである。

CHECK 現地調査

学校教育サポートセンター

国分寺給食センター

学習支援室 ドリーム

議　会　の　動　き

2月
３日　総務常任委員会
４日　議員全員協議会、政策検討会議
８日　議会報告会（意見交換会）
14日　議会運営委員会・議員全員協議会
　　議会活性化特別委員会
17日　議会だより編集委員会
21日　政策検討会議全体会
21日～３月19日　第１回定例会

3月
４、５日　教育福祉常任委員会
６、７日　経済建設常任委員会
７日　小山広域保健衛生組合
　　第１回議会定例会
10、11日　総務常任委員会
17日　議会運営委員会、議員全員協議会、政策検討会議
19日　議会だより編集委員会
21日　石橋消防組合議会
24日　FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
　　（出演者：総務常任委員会）
27日　議会広報モニター会議

4月
２日　議会だより編集委員会
８日　栃木県市議会議長会議
10日　議会運営委員会、議員全員協議会
15日　議会だより編集委員会
17日　関東市議会議長会定期総会
24日　議会だより編集委員会
28日　FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
　　（出演者：教育福祉常任委員会）

第２回定例会（６月議会）の予定

日	月	火	水	木	金	土
6月1日	2	3	4	5	6	7
			本会議			
			開　会	一般質問	一般質問	
8	9	10	11	12	13	14
	本会議	常任委員会				
15	16	17	18	19	20	21
				本会議		
				閉　会		

※会議の予定は変更になることがあります。
※日程が決定次第、市議会ホームページでお知らせいたします。

第１回定例会の審議結果

議案などに対する各議員の賛否の状況です。

議員の賛否が分かれたもの

議案等番号	付議事件	結果	山下みゆき	西本由利子	鈴木一司	石川浩	松山裕	加藤好雄	金子康法	伊藤陽一	五戸豊弘	貝木幸男	石川信夫	相澤康男	大島昌弘	石田陽一	小谷野晴夫	秋山幸男	村尾光子
議案５号	令和６年度下野市一般会計補正予算（第８号）	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	－	○	○	○	○
議案12号	令和７年度一般会計予算	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	－	○	○	○	○

○…賛成　●…反対　（議長は表決に加わらない）

全会一致で答申・承認・可決されたもの

議案等番号	付議事件
議案１号	人権擁護委員の候補者の推薦について
議案２号	人権擁護委員の候補者の推薦について
議案３号	下野市教育委員会委員の任命について
議案４号	下野市公平委員会委員の選任について
議案６号	令和６年度下野市一般会計補正予算（第９号）
議案７号	令和６年度下野市国民健康保険特別会計補正予算（第４号）
議案８号	令和６年度下野市介護保険特別会計補正予算（第３号）
議案９号	令和６年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第３号）
議案10号	令和６年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第３号）
議案11号	令和６年度下野市水道事業会計補正予算（第１号）
議案13号	令和７年度下野市国民健康保険特別会計予算
議案14号	令和７年度下野市後期高齢者医療特別会計予算
議案15号	令和７年度介護保険特別会予算
議案16号	令和７年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計予算
議案17号	令和７年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計予算
議案18号	令和７年度下野市水道事業会計予算
議案19号	令和７年度下野市下水道事業会計予算
議案20号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
議案21号	下野市税条例等の一部を改正する条例の制定

議案等番号	付議事件
議案22号	下野市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
議案23号	下野市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
議案24号	下野市職員の給与に関する条例及び下野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正
議案25号	下野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
議案26号	下野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正
議案27号	下野市消防団条例の一部改正
議案28号	下野市地域公共交通会議条例及び下野市空家等対策協議会設置条例の一部改正
議案29号	下野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
議案30号	下野市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
議案31号	下野市手数料条例の一部改正
議案32号	下野市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正
議案33号	下野市水道事業布設工事監督者が監督業務を行う水道の布設工事、布設工事監督者の資格及び水道技術者の資格を定める条例の一部改正
議案34号	下野市新型コロナウイルス感染症対策資金借入金利子補給基金条例の廃止
議案35号	土地の取得について
議案36号	市道路線の認定について
[追]議案37号	下野市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生に関する条例の一部改正
[追]発議１号	下野市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正
[追]発議２号	下野市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正
[追]発議３号	「有機フッ素化合物による地下水汚染への対応を求める意見書」の提出

[追]・・・追加議案

議会に報告があったもの（表決はありません）

議案等番号	案件名	内容
報告１号	専決処分の報告について	市道での事故に係る損害賠償金額3万3,660円の決定
報告２号	専決処分の報告について	市道での事故に係る損害賠償金額3万2,560円の決定

市政を問う 一般質問

一般質問はインターネットで動画を公開しています。
各議員の記事右上の２次元コードによりご覧ください。

第１回定例会では、会派代表質問が行われ、３名の会派代表質問者が質問しました。また、個人質問として７名の議員が市政に対し質問を行いました。質問と答弁の内容を要約して掲載します。

今回の質問者は

【会派代表質問】

1．小谷野晴夫 議員（一心会）……P８
2．金子　康法 議員（清明会）……P９
3．村尾　光子 議員（下野市民派クラブ）‥P９

【個人質問】

4．伊藤　陽一 議員……P10
5．石川　信夫 議員……P10
6．松山　　裕 議員……P11
7．西本由利子 議員……P11
8．五戸　豊弘 議員……P12
9．石川　　浩 議員……P12
10．山下みゆき 議員……P13

会派代表質問
一心会

こ や の はる お
小谷野晴夫議員が問う

ピ ー フ ァ ス
PFAS

市民の安全のため他の配水区でも水質検査を

市　長　今回の状況を勘案し、他施設の浄水の水質検査を早急に行う。

Q 石橋第２配水区で１月20日に採取された水道水から環境省が定めた水道水等に含まれるＰＦＯＳ・ＰＦＯＡの暫定目標値を超える数値が検出されたが、取組は。

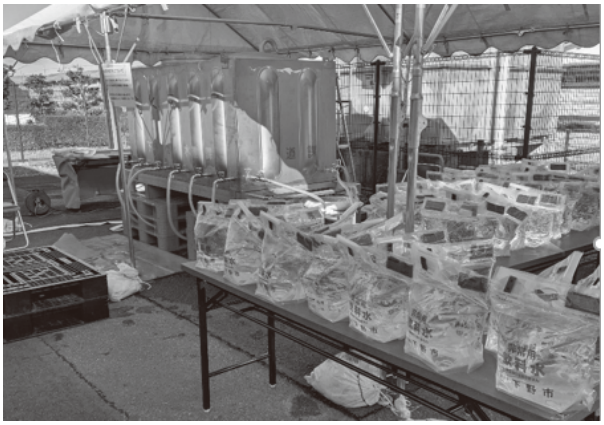
A **市長**　この事象を災害発生と同等と捉え、下野市災害対策本部を立ち上げ迅速かつ適切な対応に当たることとし、配水区域内全世帯を対象に職員が戸別訪問し周知パンフレットを配布したほか、説明会を開催した。２月４日から石橋北小学校において臨時給水所の開設とともに、給水所に来られない方には飲用水を配送する対応をした。また、配水区の水道加入者を対象に浄水器購入補助制度を創設し運用を開始した。

Q 家庭用浄水器のカートリッジは約900ℓで交換が必要であるが、補助の追加の考えは。

A **都市建設部長**　事態の長期化となれば、臨機応変に考えていきたい。

Q 第２配水区に隣接している宇都宮市・上三川町からの供水を早急に対応するべきであるが。

A **都市建設部長**　比較的短時間で対応できる可能性を有する対策として有効と考える。事務レベルで技術的な協議を始めている。



石橋北小臨時給水所

会派代表質問
清明会

かねこ　やすのり
金子康法議員が問う

今後の計画

第三次総合計画推進について

市　長　地域の特性を生かした計画を基本とする

Q 今日まで発展してきた本市の今後は、人口減少を視野に財政面への配慮も不可欠だが、第三次総合計画をどのように策定するのか伺う。

A **市長**　市民意識調査の結果も踏まえ、地域の魅力を生かし将来世代に繋がるよう、持続可能な財政運営を維持し、医療・福祉・雇用・子育て等、諸施策のもとに賑わいと活力あるまちづくりを実現するための計画としたい。将来の見通しが不透明な時代だからこそ、本市の歴史、文化、自然などの地域資源を最大限に活用し、子どもたちに引き継いでいくことを目指します。

Q 人口減や財政面の影響等を最小限にする施策をどのように講じ、展開するのか伺う。

A **総合政策部長**　若者や子育て世代の転入促進、国庫補助等の有利な財源を積極的に活用していきたい。

市職員人材育成について

Q 職員の人材育成に取組む中で、その評価に基づく表彰等、職員の励みや目標となる表彰制度を検討できないか伺う。

A **市長**　職員人材育成基本方針の策定や職員提案制度を実施しているが、職員表彰制度は職員の意欲向上・組織活性化に有効な取組みであり、対応を検討したい。

他市の職員表彰制度の事例を一部紹介します。

「永年勤続表彰」：勤続期間が25年（又は30年）に達した職員を表彰。
「業績表彰」：職務上もしくは職務外において、顕著な業績を挙げ、著しく職員の名誉を高揚した職員もしくは団体を表彰。
　なお、特に顕著な業績を挙げたと認められるものに「市長賞（最優秀賞）」・「優秀賞」を与える。
「職員提案表彰」：事務合理化又は能率化に関する提案のうち、優秀と認められる提案を行った職員もしくはグループを表彰。
「市民推薦賞」：市民から高い評価を受けたものに対して表彰。

会派代表質問
下野市民派クラブ

むらおみつこ
村尾光子議員が問う

PFAS対策

水道水のPFAS汚染源究明と長期的な対策を伺う

市　長　新たな水源井戸を市道２－１号線沿いに掘削する

Q 本市の水道水浄水からPFASが暫定目標値を超えて検出された。昨年第３回定例会にて陸上自衛隊宇都宮駐屯地のPFAS所蔵・処理に関しては「令和4年度中に処理完了」との答弁だった。処分に至るまでの使用実績、処理方法の確認状況を伺う。

A **市長**　２月13日に宇都宮駐屯地に確認したところ、「法規制対象となった平成22年以降では使用実績は無く、規制以前については今後調査を行う。処理方法は現在確認中」との回答だった。市は、駐屯地内水道水と水源井戸の水質検査結果の公表も、県や関係機関と連携して要請する。

Q 石橋第２配水区の新たな水源井戸はどこに設置するのか。

A **市長**　石橋第２配水場から北西へ1.2km先の市道２－１号線沿いを予定している。

Q 水道施設整備について次の件を検討してはどうか。①石橋第２配水場を廃止して第１配水場に統合する。②上三川町から浄水または原水の供給を受ける。③南河内地区に水源井戸を設置する。

A **市長**　①配水場統合には新たな水源井戸、費用、期間を要する。②上三川町からの供給は現実的だが水量が少なく、宇都宮市からの供給も協議を進める。③第２配水区まで10km程度の導水管の整備が必要であり、長期間を要する。

石橋第２配水所

一般質問

個人質問

伊藤陽一（いとう よういち）議員が問う

eスポーツ

高齢者のフレイル※予防にeスポーツを

市　長　今後の動向に注視して調査研究をしていく

Q eスポーツはコンピューターゲームを使った対戦をスポーツ競技に使用していて脳の活性化や認知機能が改善する等、フレイル予防につながる。また、高齢福祉課ではフレイル※予防教室を実施しており、健康寿命の延伸に努めている。これを踏まえて本市におけるeスポーツの導入について伺う。

A **市長**　地域ふれあいサロンの自主的な活動については、eスポーツを導入した団体は見受けられない。今後は、各サロンや老人クラブの自主性を尊重しながらニーズの把握に努めるとともに、国や県、他自治体の今後の動向に注視して調査研究をしていく。

※フレイル
虚弱を意味する言葉で、「健康」と「要介護」の中間のことを指す。フレイルは早い時期に予防を行えば、より健康な状態に戻すことができる。

「TVゲーム」を活用した高齢者向け講座の様子（南河内公民館）

個人質問

石川信夫（いしかわ のぶお）議員が問う

玩物喪志

全国ではゲームに利用する子がいると聞くが

教育次長　端末に制限をかけゲームやサイトの閲覧はできないようにしている

Q 1/16付、読売新聞にデジタル教科書についてのアンケートが掲載された。それによると紙の教科書の利点を挙げる声が目立った。しかし国はデジタルの正式教科書化に歩を進めようとしている。紙の教科書で十分学力は身につくものと思われる。今後どのように考えていかれるか伺う。

A **教育長**　ＩＣＴの活用によりこれまで実現できなかった指導方法が可能となり、学習の充実につながっている。読み書きが困難な児童にも文字の拡大や動画視聴は学習理解の助けとなる。今後の国の動向を注視し、適切に判断をしていく。

Q 前述のアンケート結果では、ＩＣＴをうまく活用できないという先生が28.4％いた。機械の操作に長けていないと教師になるのに二の足を踏んでしまうなど、教師の本分とは違うことに気を取られるのでは。

A **教育次長**　教師の負担を軽減するため、校内を始め、市、県主催の研修会を実施している。

Q 子どもの学力は紙の教科書で８割は確保できると考える。機械の操作を研修する必要はないのでは。

A **教育長**　社会のデジタル化を見据え、10年後、20年後に必要な力を身につけさせたい。

一般質問

個人質問

松山（まつやま）　裕（ひろし）議員が問う

防犯体制

防犯強化に向けた防犯灯やカメラの設置は

市　長　犯罪抑止のため防犯灯や防犯カメラを設置し、防犯体制を強化する

Q 警察庁によると、刑法犯認知件数が令和３年から増加傾向にある。特に路上強盗、ひったくり等の街頭犯罪、SNSを駆使した詐欺、闇バイトによる凶悪な強盗事件が多発し人々の不安感が増している。そこで防犯灯の設置について、自治会からの要望に対応されているのか。また、街路灯、防犯カメラの設置について伺う。

A **市長**　市は犯罪を未然に防ぐため、自治会からの要請に基づく防犯灯の設置、防犯カメラ設置費用の一部補助を行っている。防犯灯総設置数4,300基、R6年度は１月末時点で25基設置。街路灯は、市道に661基、防犯カメラは市の公共施設、運動公園などに80基設置している。

Q 防犯強化が求められる中、今後の取組方針は。

A **市長**　防犯協会の各種防犯運動施策に積極的に参画、活用して防犯体制の強化を図る。今後は小学生の下校時間帯を中心とした防犯パトロールの実施等、より幅広い活動について、教育委員会と連絡調整し、防犯の強化に努める。

栃木県警防犯アプリ「とちぎポリス」

個人質問

西本由利子（にしもとゆりこ）議員が問う

官民連携

官民実施の健康調査を施策にどう活かすか

市　長　令和８年度策定の「第10期高齢者保健福祉計画」の参考とする

Q 市では平成29年から生活実態調査を自治医科大学4年生と市生活支援コーディネーターが中心となって実施してきた。6,000件を超えるデータが蓄積されたが、その結果を市民の健康増進のために公開や活用をしないのか。

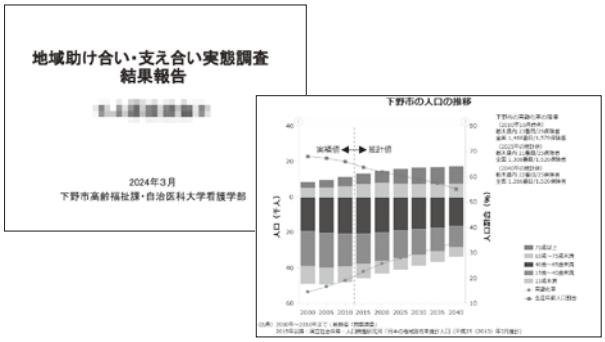
A **市長**　統計分析を担う自治医科大学の判断を伺いながら公開方法については調整していく。また、地域の健康づくりや健康教育での活用、関連する推進委員との情報共有や、第10期高齢者保健福祉計画に活かすよう検討したい。

Q 今後の生活支援体制整備事業の方向性は？

A **市長**　支え手となる人材不足の社会構造が見込まれ、公助社会の成り立ちが危ぶまれる。地域全体のサポートが不可欠となる中で、本事業が果たす役割は重要である。生活支援コーディネーターや協定締結した自治医大と新たな連携や協力によって、さらなる市民生活の向上を目指す。

Q 地域福祉の担い手である生活支援コーディネーターに、今後どのようなことを求めるか。

A **市長**　引き続き、関係機関の連携体制の構築、サービス資源と地域ニーズのマッチングなど、効果的な対策を講じられるようお力添えをいただきたい。



一般質問

個人質問

五戸豊弘（ごのへとよひろ）議員が問う

地震対策

いつ起こるかわからない大地震について

市　長　住宅の耐震化率を令和7年度末までに96％にすることを目標にする

Q 木造住宅耐震改修は、令和２年から令和６年の上限金額は100万円に増額、県産材を使用した場合10万円加算されるが、さらに補助金額を増やすことはできないか。

A **市長**　木造建築物の耐震化については、大地震発生時に市民の生命や財産を守る観点から、国や県の動向に合わせた補助制度の拡充を図るとともに、広報紙や市のホームページ、リーフレットやFMゆうがお等を活用した普及啓発に努め事業を促進していく。

Q 家を失った場合の避難所の確保、家族と同様に暮らしているペットの対応はどのように考えているのか。

A **市長**　下野市地域防災計画では、一時的に身を寄せる事が出来る第１次避難所を市内３か所、被害の状況に応じて順次追加しながら、最大で39か所の指定避難所を開設することとしている。災害時においてもペットが安心して穏やかに過ごせるように、ペットの同行避難にかかるマニュアルを定めるとともに、日頃からの準備について啓発していきたい。

個人質問

石川浩（いしかわひろし）議員が問う

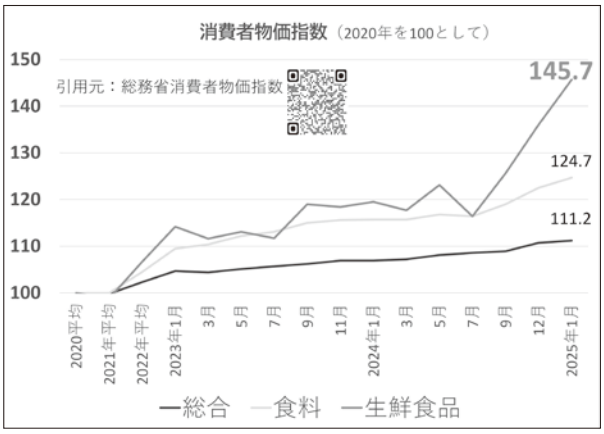
経済支援

物価高騰への継続的な支援体制は？

市　長　今後も社会経済状況を注視しつつできる限りの支援策を検討する

Q 物価高騰が止まらず、１月の消費者物価指数では、総合指数で2020年＋11.2％、生鮮食品に限っては＋45.7％。家計に与える影響は、実質賃金が伸びていない状況を加味すると、更に深刻な状況と思う。令和６年度補正予算にて「物価高騰対策支援商品券給付事業」が計画されており、市民にとっては一助になるものと思う。この物価高は、今後もまだまだ続くものとエコノミストは予測している。市民への出来る限りの継続的な支援を希望するが考えを伺う。

A **市長**　物価高騰社会において、持続可能な社会の構築のため、新たな財政支援策の導入について、国に対し機会あるごとに要望を行っている。今後も社会経済状況を注視しつつできる限りの支援策を検討する。



← 消費者物価指数（2020年 基準）

一般質問

個人質問

やました
山下みゆき議員が問う

給食は食育

学校給食の地産地消及び食育の推進について

教育長　今後も引き続き食に関する理解や判断力の育成を図る

Q 学校給食における地産地消及び食育の推進について現在の学校給食予算や栄養士配置の課題と対策について伺う。

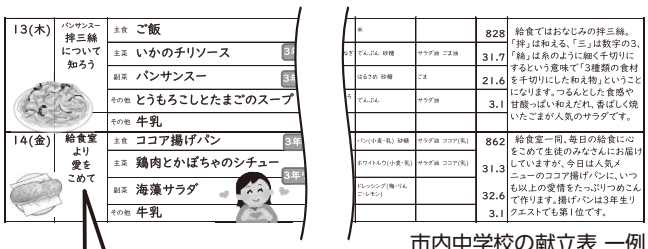
A 教育長　令和６年度、約３億5,210万円を計上。内訳は、栄養士など人件費約1,560万円、調理配送業務約２億2,680万円、維持管理6,550万円、地産地消推進事業かんぴょう購入190万円、米支給2,080万円、令和６年度特例措置給食費補助2,150万円である。栄養士は現在9名であり、毎年県や国に単独調理場への配置拡充を要望している。

Q 給食費財源のためにふるさと納税の活用や募金箱設置の取り組みが可能か伺う。

A 教育長　ふるさと納税の使い道の項目に教育のための事業があり、対応可能と考える。募金箱の件は他の自治体の事例を参考に研究していく。

Q 保護者の試食会や地域のお年寄りを招いたランチ会の再開について伺う。

A 教育長　コロナが５類となり一部では保護者を対象とした試食会などを再開している。一方で、食育情報を給食だよりやホームページ等で発信したり、外部講師を招き食に関する授業を公開する新たな取組も始めた。



13(木)	パンサンスー 拌三絲について知ろう	主食	ご飯			828	給食ではおなじみの拌三絲。「拌」は和える、「三」は数字の3、「絲」は糸のように細く千切りにするという意味で「3種類の食材を千切りにした和え物」ということになります。つるんとした食感や甘酸っぱい和えだれ、香ばしく焼いたごまが人気のサラダです。
		主菜	いかのチリソース	3年		31.7	
		副菜	パンサンスー	3年		21.6	
		その他	とうもろこしとたまごのスープ			3.1	
		その他	牛乳				
14(金)	給食室より愛をこめて	主食	ココア揚げパン	3年生	パン(小麦・乳) 砂糖	サラダ油 ココア(乳)	862
		主菜	鶏肉とかぼちゃのシチュー	3年生	ホワイトルウ(小麦・乳)	サラダ油 ココア(乳)	31.3
		副菜	海藻サラダ		ドレッシング(梅・りんご・レモン)		32.6
		その他	牛乳				3.1

市内中学校の献立表 一例

←下野市教育情報ネットワークけやきネット

未来の下野市農業を担う
ＪＡ若手営農者との懇談会を開催しました

日　時：令和７年１月21日（火）午後６時～
出席者：ＪＡ青壮年　市内農業経営者　10名
　　経済建設常任委員会　５名

出席された農業経営者からは、農業環境の充実に向けた取組を強く要望する声が多くあがった。

≪意見交換会における主な意見≫

①農業従事者の減少対策として、スマート農業の導入検討が必要と考える。

②空き地・相続土地の扱いについて、対象となる農地を管理できる行政主導の組織づくりが急務と考える。

③下野ブランドの推進について、ブランド化できる農産物を明確にし、市全体で取り組める政策があってもよい。

一般質問

令和６年度議会報告会・意見交換会

各常任委員会からの活動報告

総務常任委員会

総務常任委員会が昨秋に実施した行政視察について報告を行った。

新潟県南魚沼市の「ふるさと納税」については、令和５年度のふるさと納税寄付額が約 57 億３千万円とのこと。南魚沼産コシヒカリや清酒八海山等の知名度も相まって右肩上がりで寄付額を伸ばしている。リピーター獲得における戦略的な取組や生産者への支援を含む寄付金活用事例は参考すべき点が多くあった。

三条市の「市内公共交通体系」については、日中はタクシー業者による市内全域に設置した停留所間移動のフルデマンド運行、朝夕はバス事業者によるバス運行等、交通事業者や地域の特性を活かした体系が整備されていた。先進的な事業展開方法について、本市も調査研究を進めていかなければならない。

経済建設常任委員会

経済建設常任委員会では、令和６年度の主要事業について事業内容の報告を行った。

そのなかでも、完成が待ち遠しいスマートインターチェンジについて、下野市が担当する工事箇所（料金所手前までの進入道路）や総事業費など、工事の進捗状況写真を交えながら説明した。本事業は、経済建設常任委員会でも時折現場を視察しており、令和７年度も引き続き注目していきたい。

報告後は、工事完了などについての質問があり、市民の皆さまも関心の高い重要な事業であると再認識した。

教育福祉常任委員会

昨年 11 月に実施した奈良県明日香村と橿原市の行政視察について報告を行った。

まず、「東の飛鳥プロジェクト」を今後どのように学校教育に活かすべきか、明日香村教育委員会の取組から学んだ内容を報告した。続いて、相談件数が増加しているこどもの発達支援に関連し、療育・リハビリ・就学相談を一括して担う「橿原市子ども総合支援センター」の特長ある取組について報告した。会場からはさらに詳しい説明を求められる等、市民の皆さまとの大変有意義な意見交換の場となった。

意見交換会（議員報酬について）

議会活性化特別委員会

議会活性化特別委員会において、「議員報酬の引き上げに向けた協議検討を進めることとし、政務活動費は要求しない」との結論に至ったと報告した。参加した市民の方から、「報酬が低いためか、議員の平均年齢が高い」といった声や「物価や賃金の上昇があるなかで据え置きはいかがなものか」と、議員報酬の引き上げに賛成する声があがった。また、引き上げ額について、「近隣市議会の報酬額と立候補者の平均年齢を参考にしてみてはどうか」、「年齢の若い議員が増えれば、より建設的な意見が出され、議会のさらなる活性化に期待できるのでは」との意見をいただいた。

議会活性化特別委員会 中間報告（第2回）

議会活性化特別委員会は、令和４年第２回定例会で設置が可決され、これまでに計19回の委員会を開き、議長より諮問された３項目について調査・検討を進めてきました。

今定例会最終日に、諮問３項目の経過及び結果について相澤委員長から２回目の中間報告がありました。

議長からの諮問事項

1．議会運営の改革について
2．議員研修のあり方について
3．議員報酬及び政務活動費について

1．議会運営の改革について

本会議・常任委員会議の配信について

◆開かれた議会を目指すため本会議での一般質問及び市長の所信表明のリアルタイム配信の実現に向け協議を進めてきたが、多額の経費が見込まれることから、すでに実施している一般質問の録画配信を速やかに行うこととした。

政策提案に関すること

◆議会における政策立案等に必要な調査研究を行うため、政策検討会議を設置することとした。

議会モニター制の導入

◆広報広聴機能の充実に向け、議会モニター制（10人定員）を導入することとした。

2．議員研修のあり方について

◆議員の積極的な情報提供により研究強化を図るとともに、議会基本条例の理解を深める研修を実施することとした。

3．議員報酬及び政務活動費について

◆３町が合併して以降18人まで議員定数を削減してきたが、議員報酬は20年間据え置いている。市議会のさらなる活性化、議員を志す優秀な人材を確保するため、議員報酬の引き上げに向け協議検討を進めることとし、政務活動費は導入しないことに結論づけた。

中間報告する相澤委員長

議員発議

議員が条例の制定や改正などについて、議案を提出することです。

【発議第１号】　下野市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正

賛成全員で 可決

【提出者】秋山幸男
【賛成者】小谷野晴夫、村尾光子、石田陽一、相澤康男、伊藤陽一
【発議の趣旨】
「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号利用法）」の一部改正により、引用条文の移動に伴う改正、及び所要の規定の整備のため本条例の一部を改正するものである。

【発議第２号】　下野市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正

賛成全員で 可決

【提出者】秋山幸男
【賛成者】小谷野晴夫、村尾光子、石田陽一、相澤康男、伊藤陽一
【発議の趣旨】
「刑法等の一部を改正する法律」の施行により、刑法に規定する刑の種類（死刑、懲役、禁固、拘留、罰金、科料）のうち、懲役及び禁固が廃止され、これらに代えて禁固刑が創設させることにより本条例の一部を改正するものである。

【発議第３号】 有機フッ素化合物による地下水汚染への対応を求める意見書

賛成全員で 可 決

【提出者】秋山幸男
【賛成者】小谷野晴夫、村尾光子、石田陽一、相澤康男、伊藤陽一
【発議の趣旨】

現在、有機フッ素化合物（ＰＦＡＳ）による汚染の実態が全国各地で明らかになる中、本市においても、これまでの地下水質調査や浄水検査において、国の暫定目標値（50ng/L）を超える濃度が検出される事案が確認された。これにより、市では給水所を設置し安全な水の供給を行うとともに、問題解決の長期化も予想されることから、新たな水源の確保に向け検討を始めた。ＰＦＡＳ問題は、地下水の広域性からも、汚染原因者の特定が困難であり、技術的な問題等からも市単独で対応することは極めて困難な状況である。よって、市民の安全を確保し、市民の不安を一刻も早く取り除くため、右記の事項について特段の配慮をお願いする。

①健康への影響について、国が主体となって調査を行い、健康リスクを明確に示すこと。
②環境への影響や農作物への影響について、最新の科学的知見を踏まえて飲料や日常生活及び農業等事業活動など用途ごとの使用制限を早期に示すこと。
③ＰＦＡＳ問題解決に向け、国、県との連携を強化するとともに、市が実施する対応策について、財政的支援をすること。

「意見書の提出」
議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政庁などに提出できます。

３月25日 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、環境大臣、国土交通大臣へ提出しました。

ぎかいだより クイズ

1. 令和７年度一般会計予算総額は2〇2億6,000万円。
2. ドイツのディーツヘルツタール市との姉妹都市締結〇周年記念事業
3. 令和８年１月10日に市制施行〇周年を迎える

≪前号のクイズの答え≫ ①：千　②：４　③：青

≪応募方法≫
①～③までのクイズの答え・住所・氏名・年齢・議会だよりを読んだ感想をお書きのうえ、ハガキ・FAX・メールのいずれかの方法でご応募ください。
正解者の中から、抽選で５名の方に「お楽しみプレゼント」をお送りします。（当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。）

≪ハガキのあて先≫
〒329-0492 下野市笹原26番地
下野市議会事務局
「議会だよりクイズコーナー」宛
≪ＦＡＸ≫ 0285（32）8614
≪Ｅメール≫
gikai@city.shimotsuke.lg.jp
≪しめきり≫
6月16日（月）（当日消印有効）

議会だよりの中に答えがあるので探してみてくださいね

編集後記

先日、市外の友人から「下野市は桜の名所が近くに何カ所もあっていいね」と言われました。言われてみれば、天平の丘公園、姿川アメニティパーク、グリーンタウンの薬師川沿い、それぞれ車で数分の距離で桜の絶景に出会えます。下野市は「桜の市」としてもＰＲできることに気づきました。また、今年は本市とドイツのディーツヘルツタールが姉妹都市協定を締結して50周年ですが、２市はスミレの花で結ばれていることをご存じですか？お互いに同じ詩が刻まれた石碑を設置し、石碑の前にはスミレが植えてあります。ドイツを訪れた友人が実際のスミレの写真を送ってくれました。桜、スミレ、日本を代表する春の花自慢ができる本市を誇らしく思います。（西本由利子）

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて、議会だよりの音訳ＣＤを貸し出しています。電話 0285(43)1236

発行　栃木県下野市議会
編集　議会だより編集委員会

委員長　伊藤　陽一
副委員長　鈴木　一司
委　員　西本由利子
松山　裕
金子　康法
貝木　幸男

※次号（No.77）は８月15日に発行します
下野市議会だより１部あたりの印刷製本費は約22.7円です。

UD FONT 高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

〒329－0492 栃木県下野市笹原26番地
電話0285(32)8914／FAX0285(32)8614
Eメール gikai@city.shimotsuke.lg.jp